

広範囲のひずみ、温度をセンシング

光ファイバーセンサーによる社会インフラ予防保全

概要

- インフラ構造物に光ファイバーを埋め込み、広範囲なひずみ・温度測定を実現
- 人手をかけずに、インフラ構造物の細部の変状や、軽微な損傷をスクリーニング可能
- インフラ構造物の予防保全や品質向上、さらに老朽化監視や災害予防に貢献

特長

- 長距離（1km、最大5km）にわたり、高速（1秒周期）、高分解能（1m単位）で歪み・温度測定を実現
- 光ファイバー活用で、軽量、メンテナンスフリー、高耐環境性（防水、防爆、電磁耐性）を実現
- 広範囲かつリアルタイムにインフラ構造物全体を測定できるため、測定作業コストの低減を実現

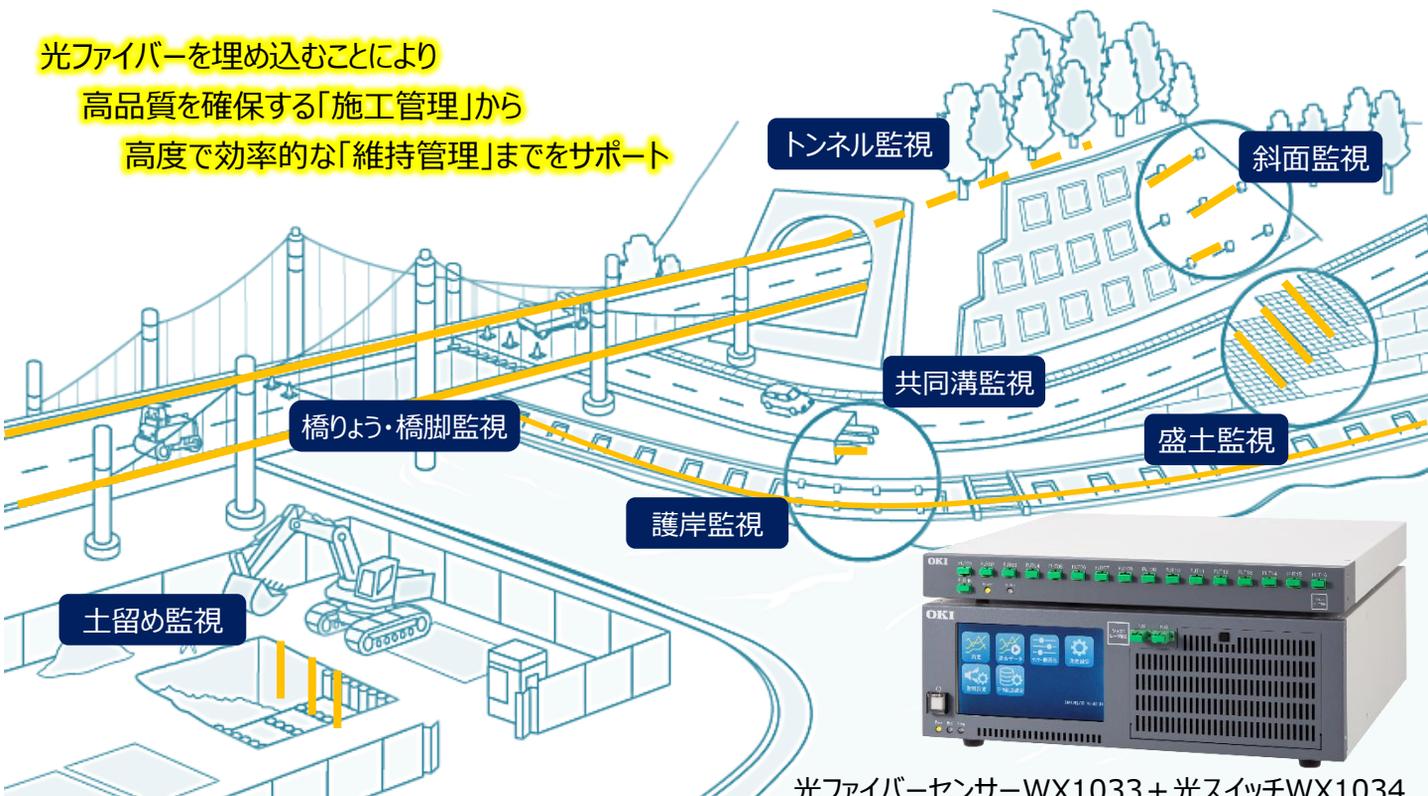
利用シーン

- インフラ構造物の施工時では、現場の経験や感覚ではなく、定量データから施工品質管理が実現できます
- インフラ構造物の定期点検/緊急点検時では、施工時のデータと比較することで変状監視が容易になります
- インフラ構造物の常時監視では、ネットワークと組み合わせることで遠隔からの監視ができ、最終的にはAI活用によって、無人監視も可能となります

光ファイバーを埋め込むことにより

高品質を確保する「施工管理」から

高度で効率的な「維持管理」までをサポート



光ファイバーセンサーWX1033 + 光スイッチWX1034

※記載されている会社名、製品名は一般的に各社の商標または登録商標です。

商品・サービスについてのお問い合わせ

沖電気工業株式会社

https://www.oki.com/jp/sensing/optical_fiber/

ソリューションシステム事業本部 社会インフラソリューション事業部

TEL. 03-3501-3111(代表)